

Eco Action 21

環境活動レポート

2023.4月～2024.3月

環境サービス株式会社

(2024年 4月 25日 作成)

【目次】

1 .組織の概要	1
2 .対象範囲	5
3 .環境経営方針	7
4 .環境活動目標（単年度及び中長期目標）	8
5 .環境活動取組内容	8
6 .環境活動計画の取組及び評価	9
7 .環境活動次年度の取組	12
8 .取組紹介	13
9 .環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟の有無	14
10 .代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果	15

1. 組織の概要

1) 事業者及び代表者名

環境サービス株式会社
代表取締役 中谷 数正

2) 所在地

本社 〒073-0162 北海道砂川市西2条北4丁目1番20号
リサイクルセンター 〒073-0115 北海道砂川市焼山702番地

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

【環境管理責任者】専務取締役 山田 修一
【担当者】 総務 藤原 さゆり
【連絡先】 本社 電話：0125-52-2739 F A X：0125-52-3040
リサイクルセンター 電話：0125-52-6902 F A X：0125-54-2729
【HP】 <https://environment-service.com>
【E-Mail】 ksk@eos.ocn.ne.jp

4) 事業活動の内容

産業廃棄物処理業（収集運搬・中間処理・最終処分）
建設業の種類（とび・土木工事業・解体工事業）

5) 事業の規模

設立年月日 昭和57年7月10日
資本金 1,610万円

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
産廃収集運搬受託量	t	1,104.29	1,118.03	820.49
産廃中間処理受託量	t	6,584.24	9,607.08	4,829.68
産廃最終処分量	t	12,262.54	10,751.88	2,628.59
建設副産物量	t	629.28	340.43	1,092.40
売上高	百万円	412.00	396.00	384.00
従業員数	人	24.00	23.00	24.00
管理型最終処分場		第Ⅵ期	第Ⅵ期	第Ⅵ期
埋立面積	m ²	30,600.00	30,600.00	30,600.00
実質埋立容量	m ³	135,400.00	135,400.00	135,400.00
埋立残容量	m ³	12,135.15	5,502.78	0.00
総床面積合計	m ²	303.13	303.13	303.13
本社事務所	m ²	132.13	132.13	132.13
リサイクルセンター	m ²	171.00	171.00	171.00

6) 対象認定登録

- 対象範囲 1) 産業廃棄物処理処分業（収集運搬・中間処理・最終処分）
2) 建設業（とび・土工工事業・解体工事業）

7) 事業内容及び登録番号

登録・許可証	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業範囲
産業廃棄物処分業 	第0014005750号	令和3年10月29日	令和10年10月28日	燃え殻、汚泥、廃油（タールピッチに限る。）、 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、 動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、 産業廃棄物を処分するために処理したもの、以上、 石綿含有産業廃棄物であるもの、 水銀使用製品産業廃棄物（水銀回収義務がないものに限る。） であるものに含む。また、燃え殻、汚泥、鋳さい、 ばいじんについては、水銀含有ばいじん等であるもの （水銀回収義務がないものに限る。）を含む。
産業廃棄物収集運搬業 	第0010005750号	令和3年10月29日	令和10年10月28日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類 （石綿含有産業廃棄物を含む。）、紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、 鋳さい、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、 動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、産業廃棄物を処分す るために処理したもの。 積替保管あり（紙くず、金属くず）
特別管理産業廃棄物処分業 	第0015005750号	平成30年12月22日	令和7年12月21日	埋立（廃石綿等）
特別管理産業廃棄物収集運搬業 	第0015005750号	平成30年12月2日	令和7年12月1日	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類）、廃酸（Ph2.0以下のもの）、 感染性産業廃棄物、廃石綿等。 積替保管なし

8) 収集運搬保有車両

車両の型式	運搬用途等	台数
ニッサンディーゼルダンプ4 t	産廃（汚泥）	1
日産キャブオーバー1 t	産廃貨物車	1
トヨタキャブオーバー1 t	産廃貨物車	1
いすゞダンプ9.4 t	がれき類車	1
いすゞダンプ9.1 t	産廃ダンプ車	1
日野ダンプ8.9 t、10 t	産廃ダンプ車	2
三菱ふそう10.2 t	産廃ダンプ車	1
いすゞエルフバン2 t	医療収集車	1
日野キャブオーバー2.85 t	トラッククレーン付	1
日野レンジャー6.9 t	トラッククレーン付	1

9) 積替保管場所

保管場所	面積	種類	保管上限	高さ
砂川市焼山320番1	37.32㎡	紙くず	39.35㎡	1.2m
砂川市焼山374番	150㎡	金属くず	145.83㎡	2.5m

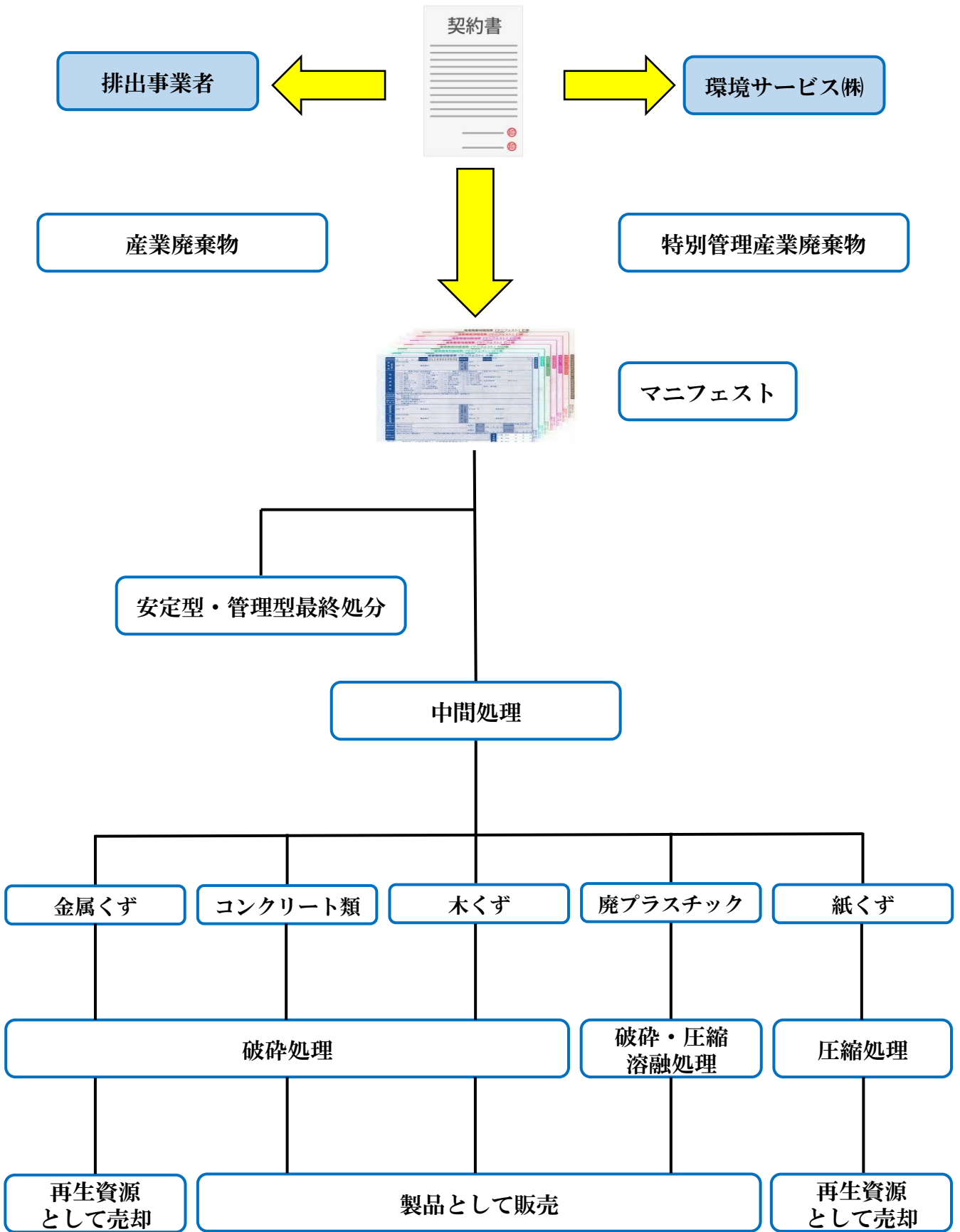
10) 処理場内の運搬・覆土等車両

車両の型式	処分用途等	台数
日立ホイロローダZW220-6	ショベルローダ	2
油圧ショベルSK210 (コベルコ)	バックホウ	1
油圧ショベル304531	バックホウ	1
油圧ショベル117395	バックホウ	1
油圧ショベル114800	バックホウ	1
油圧ショベル225605	バックホウ	1
油圧ショベル202930	バックホウ	1
油圧ショベル64840	バックホウ	1
油圧ショベル97213	バックホウ	1
ブルドーザー	敷き均し転圧用	1

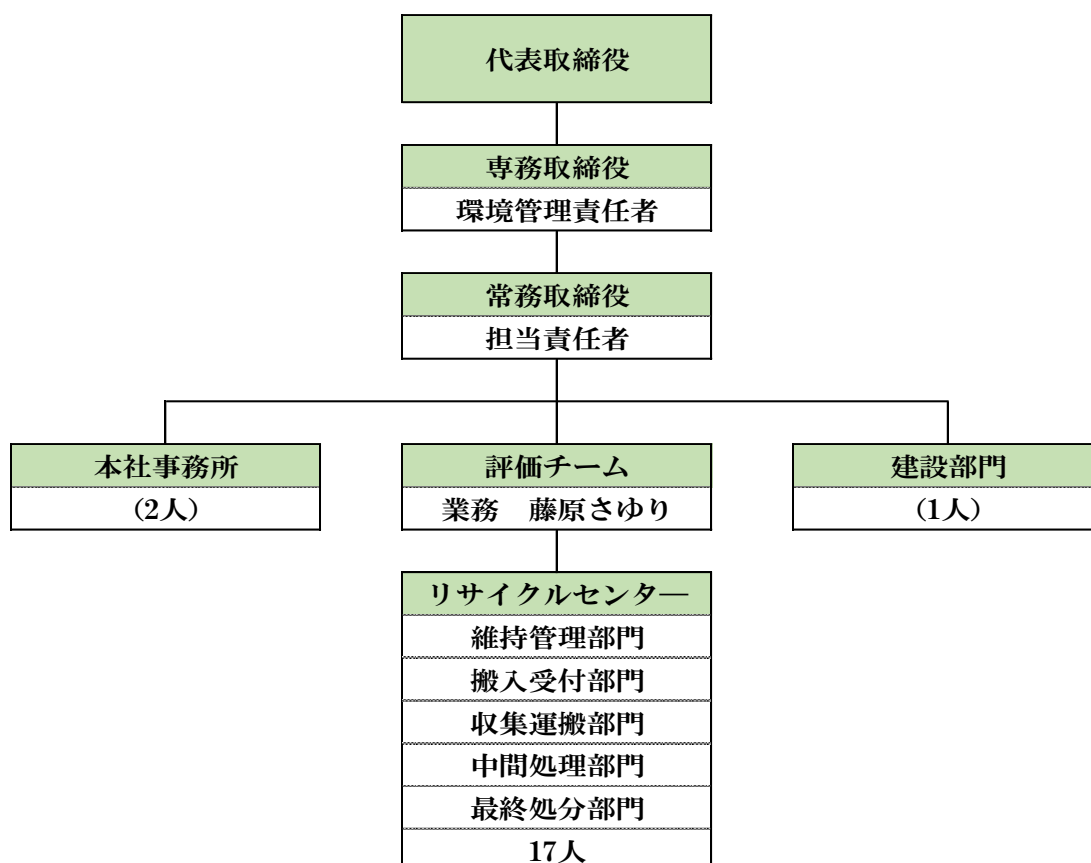
11) 中間処理施設

対象廃棄物	処理方法	設置年月日	処理能力 (t/日…t/h)	処理方式	機械名
がれき類等	破碎	平成06年08月08日	350t/日…43.75t/h	STクラッシャー	形式 S5-D
木くず	一次破碎	平成14年08月12日	480t/日…60t/h	2軸シュレッダー	HB380クローラー
木くず	一次破碎	平成31年04月25日	203.2t/日…25.4t/h	自走式破碎機	SRS780ビッグバス
発泡スチロール	一次溶融	令和03年04月08日	0.40t/日…0.05t/h	ハイメルト 発泡スチロール減容機	RE-E502X
廃プラスチック	圧縮	平成23年10月13日	4.48t/日…0.56t/h	油圧プレス	PCM500型
紙くず	圧縮	平成23年10月13日	5.12t/日…0.64t/h	油圧プレス	PCM500型

12) 中間処理及び埋立処理フロー図



2.対象範囲



【資格等】

- 1) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会
日本産業廃棄物処理振興センター主催講習会受講
 - ・収集運搬（特管産廃）課程 平成29年9月5日 受講No.517059146
 - ・処分課程（特管産廃）課程 平成30年10月17日 受講No.618164119

- 2) 産業廃棄物等技術管理者（日本環境衛生センター認定資格）
 - ・最終処分場技術管理士・・・平成14年10月31日 認定番号No.005606
 - ・破碎・リサイクル施設技術管理士・・・平成19年11月30日 認定番号No.024647
 - ・破碎・リサイクル施設技術管理士・・・平成28年06月24日 認定番号No.045235
 - ・産業廃棄物中間処理施設技術管理士・・・平成20年01月31日 認定番号No.024987
 - ・ごみ処理施設技術管理士・・・平成23年02月10日 認定番号No.032864

【地域融和】

当社の施設は、見学の要請があれば随時公開をしています。

【環境管理への取り組み】

- 1) エコアクション21認証登録・・・平成18年06月08日 認定番号第0000806号
(2022年06月07日認証・登録番号 第0000806号)

職/組織名	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等の経営資源の準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境方針の策定、見直し
	・実施体制の構築
	・環境経営目標、環境活動取組計画を承認
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境経営目標、環境活動取組計画の確認及び承認
	・環境経営目標、環境活動取組計画の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
担当責任者	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・緊急事態への準備及び訓練に立ち会い、結果の評価をする。
	・産廃処理委託契約の執行、管理票等の保管管理
評価チーム	・環境経営目標、環境活動取組計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境経営レポートの作成、公開（地域事務局への送付）
	・文書及び記録の管理
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口

3. 環境経営方針

〔環境方針〕

主の事業である産業廃棄物処理においては、排出事業者様へコンプライアンス遵守、3R活動を図ることで、地球資源の保全に役立てて社会の一翼を担うことを目的としている。

今後は、廃棄物のリサイクルの他に環境マネジメントシステムを積極的に活用維持して「廃棄物の適正処理」を推進し、かつ、日常からその改善に取り組み、もって健全な地域社会の発展に寄与することを基本方針とする。

当社のリサイクル事業等では、「運搬車両」及び「産業廃棄物の破碎・溶融・圧縮施設」におけるエネルギーが環境負荷が主であり、これに伴う法規制及び地域社会のルールを遵守しながら、従業員一丸となり事業活動に取り組みます。

〔活動指針〕

1. 産業廃棄物の再資源化を促進し最終処分量の低減に努める。
2. 化石燃料による二酸化炭素の削減に努める。
3. 電気使用量による二酸化炭素の削減に努める。
4. リサイクルセンター周辺の清掃を実施し地域の環境保全に協力する。

社内の要所に環境方針を掲示し、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

平成18年3月10日 制定

2024年3月15日 改訂

環境サービス株式会社
代表取締役 中谷 数正

4. 環境活動目標（単年度及び中長期目標）

作成日：2021年7月1日

環境活動目標項目	環境活動目標値					
	2020年度（基準値）	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	638,210.98	638,210.98	637,572.76	636,934.55	636,296.34	635,658.13
	目標削減値 (%)	0%→	0.1%↘	0.2%↘	0.3%↘	0.4%↘
電力 (kWh)	295,682.00	295,682.00	295,386.31	295,090.63	294,794.95	294,499.27
	目標削減値 (%)	0%→	0.1%↘	0.2%↘	0.3%↘	0.4%↘
灯油 (L)	62,490.70	62,490.70	62,428.20	62,365.71	62,303.22	62,240.73
	目標削減値 (%)	0%→	0.1%↘	0.2%↘	0.3%↘	0.4%↘
ガソリン (L)	8,430.10	8,430.10	8,421.66	8,413.23	8,404.80	8,396.37
	目標削減値 (%)	0%→	0.1%↘	0.2%↘	0.3%↘	0.4%↘
軽油 (L)	97,368.80	97,368.80	97,271.43	97,174.06	97,076.69	96,979.32
	目標削減値 (%)	0%→	0.1%↘	0.2%↘	0.3%↘	0.4%↘
産業廃棄物排出量	再資源化物については、適切に再資源利用を図っているため、引き続き継続する。					
水使用量	処分場及び解体現場での粉塵対策で水を使用している為、目標を設定出来ない。					
化学物質	化学物質を使用していない為、目標を設定出来ない。					

5. 環境活動取組計画

計画日：2023年5月18日

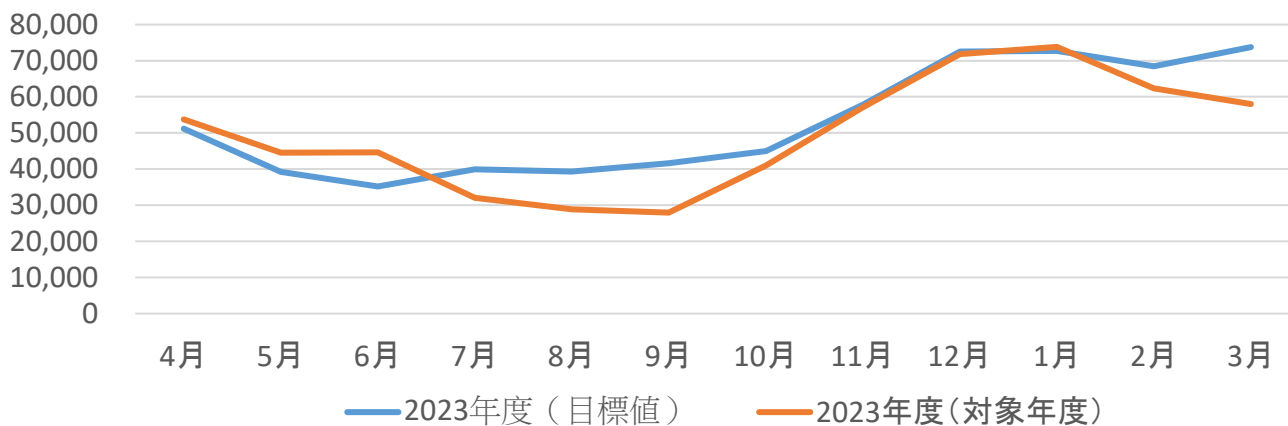
環境活動取組目標	環境活動項目
二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・総排出量を削減する。
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所、作業場等節電を全従業員実施する。
灯油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・重機車両の効率及び点検整備を徹底。
ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・営業効率ルートの実施する。 ・適性時期のタイヤ交換（夏期・冬期）
軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬時の効率及びルートの実施を行う。 ・作業場で必要以上のアイドリングを行わない。 ・適性時期のタイヤ交換（夏期・冬期）
再資源化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・金属くず・木くず等は、選別破碎を行い再資源化。 ・廃プラ類は、圧縮・溶融を行い再資源化する。

6.環境活動計画の取組及び評価

環境活動取組目標	環境活動取組内容	評価
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	リサイクルセンターの高電圧の使用を 効率よく工夫を行う	目標値より7%減少し、目標値達成

※2019年度北電調整後排出係数0.601kg-CO₂kWhを使用

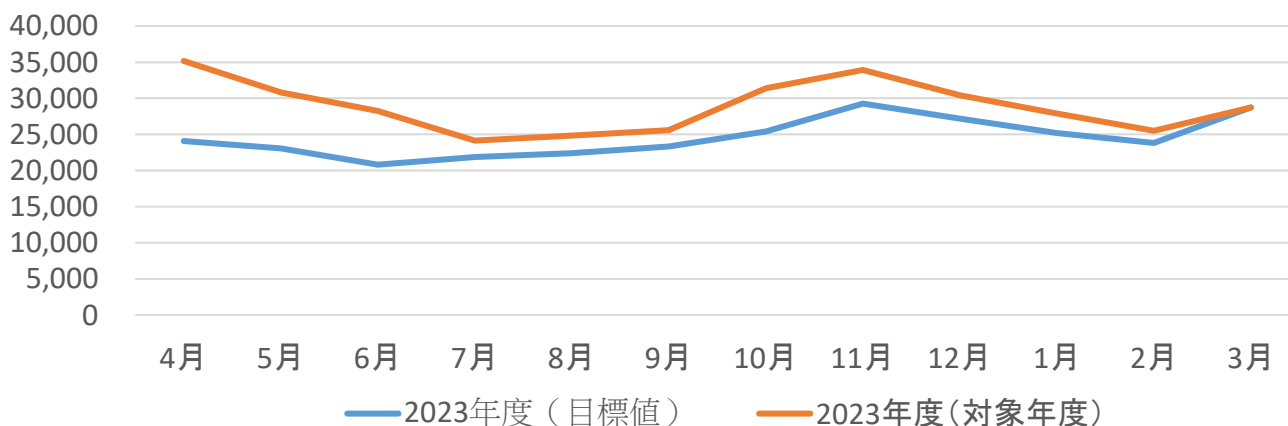
二酸化炭素排出量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度 (目標値)	51,224	39,230	35,188	39,942	39,319	41,639	45,028	57,818	72,568	72,734	68,489	73,756	636,935
2023年度 (対象年度)	53,781	44,557	44,614	32,039	28,853	27,951	40,984	57,122	71,825	73,823	62,363	58,024	595,936

環境活動取組目標	環境活動取組内容	評価
電力使用量の削減 (kWh)	事務所、作業場等節電を全従業員実施 する。	目標値より17.4%増加 要因は、管理型埋立処分場新設に係る 再生骨材を製造したために増加

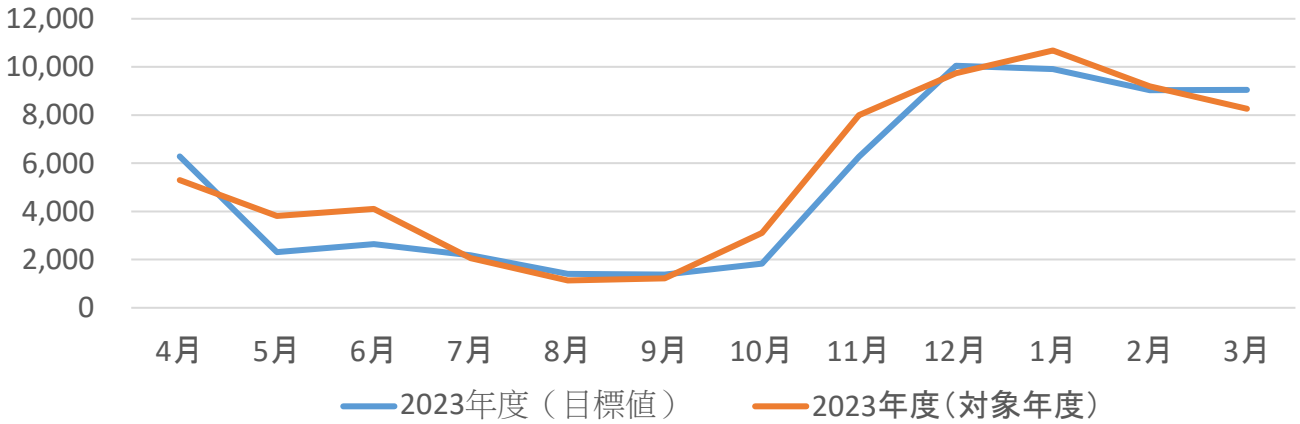
電力使用量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度 (目標値)	24,097	23,060	20,812	21,866	22,383	23,325	25,420	29,263	27,198	25,201	23,798	28,668	295,091
2023年度 (対象年度)	35,166	30,823	28,268	24,145	24,826	25,572	31,413	33,922	30,438	27,890	25,509	28,755	346,727

環境活動取組目標	環境活動取組内容	評価
灯油使用量の削減 (L)	重機車両の効率及び点検整備を徹底。	目標値より6.7%増加 要因は、第VI期管理型埋立終了に向けての重機の稼働と併用して、新設した管理型での重機使用が重なった為

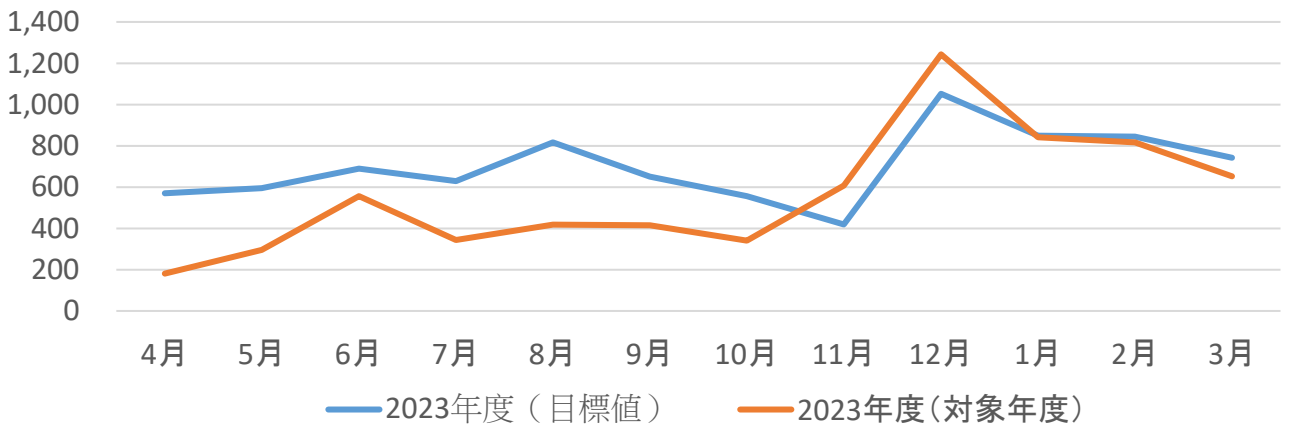
灯油使用量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度 (目標値)	6,290	2,307	2,648	2,175	1,412	1,380	1,838	6,271	10,049	9,916	9,031	9,049	62,366
2023年度 (対象年度)	5,305	3,808	4,101	2,054	1,135	1,217	3,109	7,998	9,743	10,683	9,188	8,265	66,606

環境活動取組目標	環境活動取組内容	評価
ガソリン使用量の削減 (L)	営業効率ルートの実施する。 適性時期のタイヤ交換 (夏期・冬期)	目標値より25.3%減少し、目標値達成

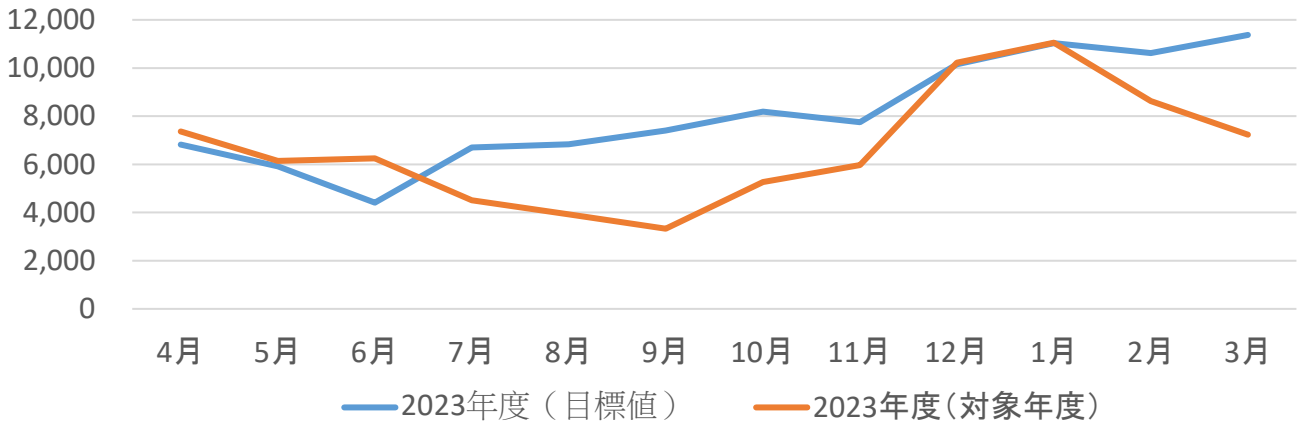
ガソリン使用量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度 (目標値)	570	595	689	629	817	651	556	419	1,052	849	845	741	8,413
2023年度 (対象年度)	181	296	556	343	418	415	341	608	1,243	841	816	652	6,710

環境活動取組目標	環境活動取組内容	評価
軽油使用量の削減 (L)	収集運搬時の効率及びルートの計画を行う。 作業場で必要以上のアイドリングを行わない。 適性時期のタイヤ交換 (夏期・冬期)	目標値より21.6%減少し、目標値達成

軽油使用量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度 (目標値)	6,818	5,911	4,411	6,703	6,828	7,404	8,185	7,748	10,153	11,037	10,625	11,351	97,174
2023年度 (対象年度)	7,371	6,149	6,249	4,503	3,929	3,329	5,261	5,972	10,228	11,051	8,628	7,228	79,898

環境活動取組目標	環境活動取組内容	評価
再資源化の促進	金属くず・木くず等は、選別破碎を行い再資源化。 廃プラ類は、圧縮・溶融を行い再資源化をする。	継続的に、お客様へ分別のお願いを周知している。

7. 環境活動次年度の取組

環境活動取組目標	具体的取組内容
二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルセンターの高電圧の使用を効率よく工夫を行う。
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所、作業場等節電を全従業員実施する。
灯油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・重機車両の効率及び点検整備を徹底。
ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・営業効率ルートの実施する。 ・適性時期のタイヤ交換（夏期・冬期）
軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬時の効率及びルートの計画を行う。 ・作業場で必要以上のアイドリングを行わない。 ・適性時期のタイヤ交換（夏期・冬期）
再資源化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・金属くず・木くず等は、選別破碎を行い再資源化。 ・廃プラ類は、圧縮・溶融を行い再資源化をする。

8.取組紹介

2023. 5.10 構内外の清掃活動

2023. 6.15 地域小学校写生会

2023. 7.28 安全労働衛生大会及び自衛消防訓練

9.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を次表の通り確認した結果、違反はありませんでした。

適用される法規等	遵守・評価
廃棄物処理法	○
建設リサイクル法	○
建設廃棄物処理マニュアル	○
消防法	○
浄化槽法	○
北海道公害防止条例	○
水質汚濁防止法	○
道路運送車両法	○
大気汚染防止法（2021年4月改正）	○
電気事業法	○
フロン排出抑制法	○
石綿による健康被害の救済に関する法律	○
計量法	○

2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規のうち、廃棄物処理法及び建設業法等は、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

実施日2024年4月18日

	代表者の評価及び見直しの必要性
環境関連法規等の遵守状況確認	法規違反は無く、引き続き遵守していくこと。
環境活動目標の達成状況	全体的に目標達成出来た為、引き続き継続すること。
環境活動取組計画の実施状況	計画通りに実施出来た為、引き続き継続すること。
外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情は無く、引き続き継続すること。
環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	新型コロナウイルスの影響で実施出来なかった自衛消防訓練が出来たことを踏まえ、更に防火器具の点検も実施を予定している。
実施体制に関する結果	周知させていくには時間がかかるが、全員参加の体制を浸透させ継続的に成果を上げていきたい。

- ・環境経営方針 変更なし 変更あり
- ・実施体制 変更なし 変更あり